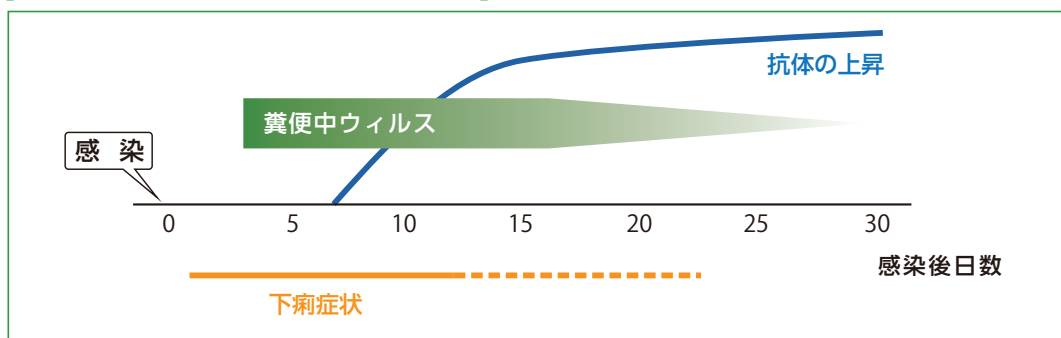


## ■ 犬コロナウイルス (CCoV)

● 本ウイルスはこれまでによく知られている腸炎の原因となるコロナウイルスです。

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
CCoV 遺伝子	糞便 適量	冷蔵	5日以内	RT-PCR	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染初期症例や CCoV ワクチン接種犬など、抗体検査で診断できない症例でも診断が可能です。</li> <li>2. 本検査は I 型、II 型を区別して検出します（一般的に II 型の方が高い病原性を示し、I 型は II 型や CPV-2 などとの混合感染時の増悪因子として働く傾向にあります）。</li> </ol>
CCoV 抗体	血清（血漿） 0.1mL	常温 冷蔵	3日以内	IP	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 抗体検査では CCoV の遺伝子型（I 型、II 型）は区別できません。</li> <li>2. CCoV ワクチン未接種の幼齢犬（4 ヶ月齢以下）の場合のみ本検査での診断が可能です。ワクチン未接種で以下の場合に感染が強く疑えます。 1 ヶ月齢 ▶ 3200 以上 2 ヶ月齢 ▶ 200 以上 3,4 ヶ月齢 ▶ 50 以上</li> <li>3. ワクチン効果判定のための基準値はありません。</li> </ol>

### 【CCoV 感染から遺伝子、抗体の推移】



## ■ 犬パラインフルエンザウイルス (CPIV)

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
CPIV 抗体	血清（血漿） 0.2mL	常温 冷蔵	4日以内	HI	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染診断 発症時とその数週間後の 2 つのサンプル（ペア血清）での診断となります。</li> <li>2. ワクチンの応答状況の確認 幼齢犬（特に多頭数飼育環境）での免疫状況をはかるために本検査は有効です。 少数頭飼育環境の成犬は対象ではありません。 参考基準値 HI 抗体価 10 倍以上。</li> </ol>

## ■ 犬ヘルペスウイルス (CHV)

項目名	検査材料	送付方法	所要日数	検査方法	検査項目の説明、注意事項
CHV 抗体	血清 0.2mL	常温 冷蔵	7日以内	NT	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イルカやアザラシのヘルペスウイルスの抗体は CHV と交差性を示すことから、CHV 抗体検査がこれらウイルス抗体検査の代用とされています。</li> <li>2. ヘパリン血漿では、偽陽性になることがあります。</li> </ol>